

匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業

令和3年度 第1回 飯倉駅前地区まちづくり協議会

議事録

日時 (協議期間)	【書面開催】※新型コロナウイルス感染防止対策として ・協議期間 令和3年8月23日(月)～同3年9月6日(月)
出席者	<p>■協議会委員</p> <p>井上 峰夫 社会福祉法人九十九里ホーム理事長 江波戸 秀雄 匝瑳市豊栄地区シニアクラブ会長 大塚 栄一 匝瑳市商工会会長 宇井 昭夫 匝瑳市シルバー人材センター会長 眞田 心哉 千葉興業銀行営業支援部長代理 代理回答 斎田 忠 千葉興業銀行八日市場支店長 宇野 智弥 匝瑳市介護事業者連絡会 加瀬 功一 匝瑳市ボランティア連絡協議会長 吉本 光志 豊栄地区社会福祉協議会長 椎名 英夫 幼稚園・保育園運営者代表 片岡 博之 豊栄地区区長会長 石田 隆 須賀地区区長会長 松本 理 元豊栄地区区長会長 結城 康博 学識経験者(淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授) 山口 勝則 移住希望者</p> <p>■事務局</p> <p>社会福祉法人九十九里ホーム 江波戸 美代 専務理事 鈴木 敦子 事務長 庄村 秀泰 コーディネーター</p> <p>特定非営利活動法人元気な日本をつくる会 武藤 克哉 組織運営本部事務局長</p>

議事録	事務局	<p>1 書面開催について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染防止対策として協議会・専門部会を書面開催に変更し、各委員へ資料を事前交付</p> <p>(2) 意見票は、9月6日(月)までの投函を依頼</p>
	事務局	<p>2 書面对応(配布書面内容)</p> <p>(1) 本年度、協議会/専門部会について</p> <p>①スケジュール</p> <p>②講演会概要(プログラム内容・講演者等)</p> <p>③委員会メンバー</p> <p>(2) 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業について</p> <p>①事業概要、工事進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス付き高齢者向け住宅「聖アンナ館」 ・地域交流センター「ナザレの里」 <p>②平成28年度～令和2年度取組みについて</p> <p>③令和3年度取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住、定住へのPR手法 <ul style="list-style-type: none"> —PRパンフレットの配布 —PR動画の活用 ・地域交流センターの活用 <ul style="list-style-type: none"> —生涯学習施設の具体的運営方法の検討 —農産物直売所の運営検討 —移住者等に対する支援プログラム

【意見票】	
A 委員	<p>本市の医療並びに社会福祉事業に日頃よりご尽力されている事に対しまして、感謝と敬意を申し上げます。今回、まちづくり協議会委員に初めて任命して頂きましたが、全体像が把握できておりません。</p> <p>さて、飯倉駅前地区まちづくり事業であります、私は、匝瑳市においても将来に渡って主要な事業になるものと考えております。特に匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業及び生涯活躍のまち匝瑳の中で、</p> <p>①サービス付き高齢者向け住宅 ②地域交流センター</p> <p>等、生涯活躍のまちにふさわしい事業と思っております。従って、具体的な内容を次回の会議に出席させて頂き、個別事業等、教えて頂きたいと思っております。</p>
B 委員	<p>過去における協議会から専門部会等々にて実にいろいろと検討をされ、大枠の形が出来つつあると思います。</p> <p>本年には、千葉大予防医学センター教授近藤克則先生からのご助言もこれから取り入れられ、きっと素晴らしい考案ができることと思います。それにより、より鮮明な形が積み重なり次の誇らしいステージへと進まれることを願っております。</p> <p>この会議の本旨は、これから飯倉駅前を中心として九十九里ホームが中心となり誇らしい形のまちのエリアが創られ、にぎわいの場所としてここに地元、そして市内の人々に良く知ってもらい、加えて広く市外の方々へもどうPRを高めていくか・・・子ども達（こども園）、元気な高齢者（サ高住）、そして車イスの高齢者（シオン）、今回建設される交流センターの今後の活用の仕方も非常に大事な施設と考えます。</p> <p>勿論、九十九里ホーム既存東エリア施設と共に人の交流（施設の方を見舞う人々）を高める工夫も考えられます。この様な各施設等々がこれから永く輝きを失わない施策をお願いするところでございます。</p> <p>ご提案に有ります様に、今後の交流センター運営を思いますと、第一段階、第二段階、第三段階という形を取りながら、飽きの来ない仕掛けづくりが必要でも有りますので、その点も考慮をお願いしたいと思います。そして最後のお願いと提案です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 3年後開通予定の九十九里ホーム下のIC出口にドライバーの注目をする大きな看板を立ててほしいと思います。 2. できるかどうかですが <ol style="list-style-type: none"> 1) 施設内へ・・・コーヒーショップを（ドトールコーヒー、スターバックス等） 2) 今コロナ禍でテレワークが普及と注目がされて

	C 委員	<p>います。コロナ後を見据え二拠点生活という生活の仕方、又、ワーケーションという言葉により、都市を離れて緑多き地方での仕事とリラックスを合わせた働き方が注目を集めています。こういったモノの取入れも今後の課題ではないかと思えます。</p> <p>3. 交流センターについて 前段と重なりますが、一にも二にも常に利用者の声を徹底に聞き、それに則り末永き運営をと願っております。(例：話は少し違いますが、セブンイレブンをこの様に大きくした鈴木敏文社長がおります。ある時、TV でこう申されていました。お客さんは味に飽きが来るので同じ商品でも微妙に味つけを変え、飽きられない努力をしていた、とありました。)</p> <p>4. 商工会として対応 飯倉駅前エリアのPR を東部ブロック（旭、多古、小見川、神崎、東庄商工会）へお願いをしたいと、又、千葉県連を通して県下の商工会へもお知らせをしたいと願っています。</p> <p>飯倉駅前地区まちづくり交流ゾーンを活性化するために、飯倉駅の魅力を考えたので、下記を意見させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道 126 号バイパスに近く、国道からロータリーへの導線が良い点 ・飯倉台から飯倉駅方面になだらかなひな壇の下り坂でメインストリートが整備されており、かつホームは島式ではなく単一であり、飯倉台方面に駅から行くには橋を渡らず、フラットアプローチとなっている。 電車を降りてそのままバリアフリーで車いすや、自転車の乗り降りでき、他の総武本線の駅より利便性が高い。現状のままで今後エスカレーター等の設備投資は不要な状態。 ・九十九里ホーム様の介護、医療施設が駅を囲むように建設されて駅と飯倉台のまちと一体化しており、健康増進、病気予防、手当、子育てとのシナジー効果がある。 ・太平洋が近く、サーフィン、サイクリングなどサークル活動可能。 ・八日市場中心部、飯高地区など観光資源が豊富。 ・お客様が利用しやすいとてもコンパクトな駅となっており中核である八日市場駅を補完し匝瑳市の第二の拠点となっている。 <p>以上の飯倉駅の魅力を極大化すべく、各団体、匝瑳市とコラボレーションし発信していくことにより、飯倉駅前地区まちづくり交流ゾーンを活性化させていき</p>
--	------	---

	D 委員	<p>たいと思います。</p> <p>①移住・定住への PR 手法 現在、検討・実施されている、病院を中核とした既存施設群と CCRC エリアの一体的運営、いつでも医療提供が可能な『安心・安全』を PR（パンフレット・動画配信）と、有りますが、添付資料内での動画再生数推移をみますと、さほど関心を持たれている様には思えません。 まだまだ、九十九里ホーム様の HP からリンクでの再生や身内での再生数ではないでしょうか。 わざわざ検索サイトや YouTube で『匝瑳市移住』等するほどの知名度ではないので、まずは SNS (Twitter・Instagram 等) を活用し頻繁に投稿し、動画や HP への誘導を行ったほうがいいかと思えます。SNS 自体が無料のため、費用対効果は十分見込めるはずです。 ただし、SNS での知名度アップは、対象年齢が若くなりますが、若者の移住・定住に繋がれば町が活性化し、若者が増えた町としてメディア露出も見込めます。 ※パンフレットの都内配布ですが、友人が東京都で匝瑳市食材を使った飲食店を展開していますので、そちらへの設置可能です。</p>
	E 委員	<p>匝瑳市の希望の星 CCRC を成功させよう！！ 匝瑳市は PR がヘタです。ヘタと言うより、PR をしていないと同じなので PR になっていないのです。 より効率よく PR するのはコツがあります。それにはマスコミに取り上げられることが必要です。どうしたらマスコミが取材に来るでしょうか。それを考えられれば PR は成功します。 ①社会性があること（社会環境）。 ②タイムリーであること。 ③ニュース性があること。 以上の 3 つを押さえることが必要です。 以上のことを踏まえて飯倉駅前 CCRC を見ると、たくさん素材があります。それをどのように提示するかで勝負が決まります。さあ魅力ある話題を創りましょう！！ ・農福連携・農産物直売所・障がい者雇用・地産地消・生涯学習・農地の有効利用・移住者と協働(プロボノ)・お試し居住・地域食堂 etc 実に様々な魅力的施設が揃っています。これをどのように付加価値をつけてリリースするかが勝負です。</p>

	F 委員	<p>お送り頂いた資料を拝読させて頂きました。</p> <p>生涯活躍のまちエリアの各施設は、外から拝見していても順調に建設が進行している様子、喜ばしく思っております。</p> <p>また建物などの施設だけでなく、有効に運営するための各種の施策にも取り組んでいることが分かり、積極的な取り組みは素晴らしいと思われました。</p> <p>PR 動画も拝見致しましたが、地元に住んでいても匠瑛市の良さを改めて知らされた思いです。このような動画があることを初めて知りましたが、匠瑛市内や周辺の市町村、遠方の方々にも知ってもらうため、SNS (Twitter、Instagram、Facebook、等) を使って情報発信してはいかがでしょうか?(肖像権や個人情報の流出には注意が必要かと思われませんが)</p> <p>また、匠瑛市の資料から「移住者と地域住民が・・・交流し、協働することができるシステム・・・」等と記されていましたが、具体的な交流のプランなどがありましたら、出来るだけ協力させて頂きたいと思います。今後とも宜しくお願い申し上げます。</p>
	G 委員	<p>初めて参加させて頂きます。頂いた資料は半分以上消化できていません。漠然とですが、魅力的な施設や特色ある住宅などが出来て、匠瑛市がより良いまちになればと思います。</p>
	H 委員	<p>宣伝活動をきちんとした形でやるべきだと思います。</p> <p>現在多古町で「多古米おかず選手権」という企画に関わりイベント会社の人間と同席することが多くなっています。</p> <p>彼らが言うには、通常自治体がPR映像などを作る際に10のうち9を制作にかけて1を宣伝にかける。結果、成功はしない。</p> <p>本来は制作に2・宣伝に8をかけないといけない。成功した例はかなりその法則にのっとっている。と話していました。</p> <p>それを司る人間が言うことなので全部を信じるのは眉唾ものですが、間違っているとも言い切れません。たくさんの動画やパンフレットを作っても発信力がなければ届けるべき人間に伝わりません。</p> <p>自然発生的に広がることはまずありません。</p> <p>さらに生涯活躍のまちはインフルエンサーやマスコミに取り上げられることもないと思います。</p> <p>つまり、この時点で情報拡散がストップしています。</p> <p>ならば社内に専門の人間を置き情報を発信し続けるか、無理な場合は専門の業者に任せるべきではないでしょうか</p>

	井上峰夫 会長	<p>ターゲット層が都市部の人間であれば尚更だと思いません。</p> <p>いわゆる「普通の人」は自分からコアな情報にはアクセスしません。</p> <p>降りてきた情報の中から取捨選択をするのです。</p> <p>多古町のイベントの場合は、TV スポット、タクシー広告は予算の面で諦め、街頭ビジョンはどれだけの人が見るのか検討がつかないので見合わせ、SNS 広告 (YouTube、Facebook、Instagram) を採用しています。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>皆様から寄せられたご意見、ご感想を参考にしながら、今後の運営について考えていきたいと思えます。</p> <p>今後ともよろしくお願ひ致します。</p>
--	------------	--